

令和8年2月18日

大阪狭山市議会議長
松 井 康 祐 様

市民オンブズマン大阪狭山
副代表 荒谷 恵介
大阪狭山市半田6丁目973
顧問 小原 一浩

大阪狭山市議会議員定数削減についての陳情

令和6年度の日本人の新生児誕生は、68万人余となりました。大阪狭山市でも年間出生数は、数年前までは、年間500人を超えていましたが、近年は 400人を下回っています。さて、大阪狭山市議会の議員定数は、現在14名となっています。この定数が、多いか、少ないかは 様々な考え・議論があるところであります。

昨年11月、当市に50年間開院されていた 近畿大学病院が泉北へ移転となり、市の持つイメージからも大阪狭山市の将来のまちづくりとして大変厳しいことが想起されます。今後、4年間かけて近畿大学病院跡地の整備、その後 大和ハウス工業関係の新たなまちづくりが始まりますが、現在を起点に考えると5～10年の時間を要することになります。このような状況の中、大阪狭山市の将来人口も減少することが予想され、厳しい財政状況が考えられます。市を取り巻く厳しい現実の中、適正な議会議員定数について考えることが必要だと思います。

どの視点で考えるかによって適正な議員定数となるのかは異なりますが、人口を取り上げてみると隣接の、富田林市は人口約11万人、河内長野市は約10万人とともに 18名の議員定数です。大阪狭山市は、約5万8千人で14名なっています。四条畷市は、大阪狭山市と、人口・市域の大きさが同程度であります。10年以上前から、議員の定数を12名で大きな課題がなく議会運営をされています。極端に減らすことは、様々な方の意見を市政に反映出来なくなる懸念がありますが、大阪狭山市の将来を総合的に勘案すると12名へと、現状から2名減じることが現実的だと判断するところであります。以上、議会の皆様の英知を結集し一つの方向を示して頂きたいと思います。

